

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立上尾高等学校 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	対象学年 : 商業科3学年 選択授業 クラス・人数: 7・8・9組・60人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (スポーツⅡ・アイススケート) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	専門家の指導を受けることで正しいスケーティングを身につけ、 自己の課題に気づき、スケートの楽しさを感じることで生涯スポーツ につながる資質や能力を育てる。
5 取組内容	(1)実施日 平成30年10月29日(月) 11月 5日(月) 11月12日(月) 11月19日(月) 11月26日(月) 12月 3日(月) (2)場 所 埼玉アイスアリーナ(上尾市) (3)内 容 ①簡素なテストでグループ分けを行い、技量に合わせた段階的な指導を受ける。 ②氷上で立ったり、座ったりする導入から始まり、両足・片足・後ろ・スラローム・コーナリング等、難易度が上がる中で、指導者からのアドバイスを参考にしながら、生徒相互がお互いにコツを伝え合い、チェックし合いながら技術を身につけた。 各グループでの練習風景  

6 主な成果	・冬季スポーツの代表であり、オリンピック等で日本選手が数多くのメダルを獲得している種目であるアイススケートを体験し、種目の特性を体得することができた。 ・初めてアイススケートを行う生徒が殆どであったが、1時間のレッスンで全員の生徒が滑れるようになった。 ・最後のレッスンでは、評価テストを実施した。生徒は非常に興味・関心を持ち一生懸命取り組んだ。 ・隣のリンクで小学生がレッスンを受けているのを見て刺激を受けていた。 ・今後、プライベート等でもアイススケートをやりたいという声が多く、生涯スポーツに繋がられた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・地域に根差した学校づくりの一環として地域の公共施設の有効利用と冬季スポーツの花形であるアイススケートを実際に体験する。
8主な課題等	・多くの回数を確保することが難しい。 ・公欠（進路活動）の1回の欠課が技能習得に影響が出やすい。
9来年度以降 の実施予定	今年度同様に10月下旬から12月に実施予定。